

### 3 地元紙北国新聞から見た能登半島地震

東京工業大学 瀬尾 和夫

#### 1. はじめに

2004年10月の新潟県中越地震、2005年3月の福岡県西方沖地震と、地震活動度がそれほど高くないと見られていた日本海側で被害地震が相次いで発生してきた。本年3月25日の能登半島地震(M6.9)もまた能登半島北西部の日本海沿岸に発生した地震であった。この地震災害は、マスメディアを通じてそのつど報じられているように、数多くの問題を抱えながら2ヶ月後の現在も復旧・復興の途上にある。どのような災害調査にも当てはまるであろうが、我々が調査のために現地に入って目にする光景は、大事件の中のごく限られた一側面にしか過ぎない。そしていつも災害現場で、被災された方々には大変申し訳ないと思いつつも、実際に行っているのは各々の専門分野での調査活動のみである。

当然のことながら被災地域では懸命の救助活動が行われ、破壊された家屋や家具の片付けや、道路・ライフラインの応急復旧工事など、果てしない作業が中断なく継続されることになる。被災者は避難所での不自由な生活を余儀なくされるが、余震への恐怖や健康上の不安を抱えての集団生活にはおのずから体力の限界があろう。特に今回のように高齢者の比率が高い地域の場合には尚更である。

本報では、このような被災地における被災者の生活実態と行政対応との関係(やりとり)を、なるべく被災者の視点に立って確認することを目的とし、地元紙の紙面を詳細に調べることが手段として、被災者側と行政側が交互に発信している情報、たとえば被災者の困窮度、被災者支援の内容や災害復旧・復興状況の推移を追跡し、時系列のダイヤグラムに整理してみた。

#### 2. 地元紙北国新聞に見られる災害対応の時間的推移

今回の能登半島地震災害の問題点を把握するために、地元紙である北国新聞<sup>[1],[2]</sup>を主に参照しながら、約1ヶ月間の現地の動きを追跡してみることにした。その結果は次表のごとくであった。ここから何を読み取るべきかについては慎重な吟味が必要であるが、ここでは取り敢えず以下に示すようないくつかの問題点を抽出してみた。

- (1) 災害の規模を要避難者の数で比較すると理解しやすい。兵庫県南部地震では30万人強、新潟中越地震の時は約10万人であったが、今回の地震では約2,500人であった。
- (2) 仮設住宅への入居は約1ヶ月後に実現しており、以前に比べると随分ピッチが上がっているとの印象である。必要数が280戸(当初は100戸)とさほど多くなかったこともあろうが、多数の高齢者家族にとっては朗報であったに違いない。
- (3) 県による災害救助法の適用は非常に迅速であった。一方において、国の激甚災害指定への要望は地震直後からあったにも拘わらず、閣議決定まで約1ヶ月を要している。これでも迅速との評価であるが、問題は被害額査定実務の遅れにあり手続き方法の改善が望まれる。
- (4) 県対本部の指令は金沢からであるが、当初から『能登を孤立させるな』を合言葉に関係市町との連携プレーは首尾よく行われたとの印象である。
- (5) ライフラインには大きな支障はなかった。上水道の完全復旧には1ヶ月以上を要している。一部の地域(門前町深見地区)は道路閉塞のため孤立したが救助活動は迅速に行われた。
- (6) 震災の背後には、北陸電力志賀原発の臨界事故隠しと地方統一選挙の問題が存在していた。
- (7) 風評被害の問題が当初から心配されていた。七尾市和倉温泉や輪島市など観光産業への依存度が高い地域は大きな痛手を蒙ったが、全くの風評被害(地震被害とは関係なかった)という訳でもなく、のと鉄道穴水-輪島間がすでに2001年3月末に廃止され、頼みの綱である能登有料道の被害が大きかったことも観光被害の要因の一つではないかと思われる。
- (8) 最後に、地元紙北国新聞の活躍には当然のこととは云え賛辞を贈りたい。地震発生が日曜の朝であったため、当日夕刻に発行された特別夕刊は被災者にとって何よりの情報源であった。兵庫県南部地震の神戸新聞、新潟中越地震の新潟日報、福岡県西方沖地震の西日本新聞がそうであったように、被災者にとって身近な生活支援情報は貴重なものであろう。
- (9) 新潟中越地震の時にも痛感させられたが、過疎地域の高齢化社会の問題には抜本的対策が必要であろうと考えられる。

#### 3. おわりに

今回の能登半島地震については未だ検討が不十分な段階にあり、現地の状況も刻々と変化している。しばらくは様子を見守り続けたいと考えている。兵庫県南部地震や新潟中越地震・福岡県西方沖地震など他地域で発生した地震災害との比較を行うことによって、震災対策のキーポイントや隘路がどのあたりに存在するのか、それらの所在を追及できれば今後の地震防災対策にとってこの上ないことと考えている。

#### 参考資料

- [1] 北国新聞 特別夕刊, 北国新聞社, 2007.3.25.
- [2] 北国新聞, 北国新聞社, 2007.3.26.~4.30.
- [3] 特別報道写真集 能登半島地震, 北国新聞社, 2007.4.12.